

2023 年度 天体形成研究会プログラム  
2023 年 11 月 17 日(金)～18 日(土)@筑波大学計算科学研究センター

11/17(金)

<セッション 1> 10:00~11:25 座長:桐原崇亘		
10:00~10:10	はじめに	
10:10~10:30	竹田麟太郎 (筑波大学)	相対論的流体中での多重散乱光子が作る輻射強度分布の解析解
10:45~11:00	瀬尾明莉 (筑波大学)	Variable Eddington Tensor 法を用いた高精度輻射輸送計算コードの開発
11:00~11:25	高橋幹弥 (筑波大学)	観測イメージの時間変動を用いたブラックホールスピンの推定
11:25~11:50	休憩	
<セッション 2> 11:30~13:30 座長:金田優香		
11:30~11:45	竹内大晟 (筑波大学)	ダークサテライトと銀河円盤ガスの衝突による流体力学相互作用
11:45~12:05	古谷田和真 (筑波大学)	衛星銀河の衝突による銀河円盤ガスの流体力学不安定性の解析
12:05~12:30	大滝恒輝 (筑波大学)	ダークマターサブハロー衝突と誘発的矮小銀河形成
12:30~13:10	新田伸也 (筑波技術大学)	地球磁気圏現象での自己相似リコネクションモデルの検証
13:10~14:30	昼食	
<セッション 3> 14:30~15:20 座長:曾我健太		
14:30~14:50	竹林晃大 (筑波大学)	コンプトン散乱を考慮した一般相対論的偏光輻射輸送計算コードの開発
14:50~15:05	波多野智 (筑波大学)	Physics-informed Neural Networks を活用したガスと輻射の相互作用の解の推定
15:05~15:20	山口未沙 (筑波大学)	金属量から探る矮小銀河の Galactic Habitable Zone ~銀河衝突を経験した銀河の化学進化を踏まえて~
15:20~15:45	休憩	
<セッション 4> 15:45~17:10 座長:小川拓未		
15:45~16:25	花輪知幸 (千葉大学)	Higher Order Methods for Numerical Simulations Including Self-Gravity
16:25~16:40	山本卓 (筑波大学)	Quenching of star formation at the center of barred spiral galaxies
16:40~16:55	五十嵐諒 (新潟大学)	準解析的モデル“v2GC”におけるダストモデルの組み込みについて
16:55~17:10	東佑輝 (筑波大学)	Meshless Finite Mass 法を用いた流体シミュレーションの高速化

※一日目終了後は写真撮影と懇親会を行います。

## 11/18(土)

<セッション 5> 10:00~11:00 座長:尾形絵梨花		
10:00~10:25	内海碧人 (筑波大学)	カー・ブラックホール周りにおける超臨界降着円盤の一般相対論的輻射磁気流体シミュレーション ~エネルギー解放機構とブラックホールスピンの進化~
10:25~10:45	島田悠愛 (筑波大学)	降着円盤を持たない超高光度 X 線源はあるのか? :低角運動量ガスによる超臨界降着流の一般相対論的輻射磁気流体計算
10:45~11:00	黒田裕太郎 (筑波大学)	ライフォース駆動形円盤風を伴うブラックホール降着円盤の研究
11:00~11:25	休憩	
<セッション 6> 11:25~12:20 座長:朝比奈雄太		
11:25~11:45	新井聡一 (筑波大学)	星形成領域におけるフィードバックの研究
11:45~12:05	大久保宏真 (筑波大学)	NGC 1068 の ALMA 多輝線データを用いた主成分分析による特徴抽出
12:05~12:20	池田達紀 (新潟大学)	ALMA 望遠鏡による銀河系外縁部低金属量ホットコア天体の観測
12:20~13:20	昼食	
<セッション 7> 13:20~14:35 座長:尾形絵梨花		
13:20~13:45	井上壮大 (筑波大学)	磁化中性子星への超臨界降着流の一般相対論的輻射磁気流体力学シミュレーション
13:45~14:05	田中怜 (筑波大学)	3次元多層ISMに対するAGNフィードバック効率の内部マッハ数依存性
14:05~14:25	仲野友将 (筑波大学)	銀河衝突過程における多重AGN発現機構の解明
14:25~14:35	まとめ	